デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HDC-401	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   (ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   (ニ)車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   (ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
   (ヘ)本書のご提示がない場合。
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL.03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

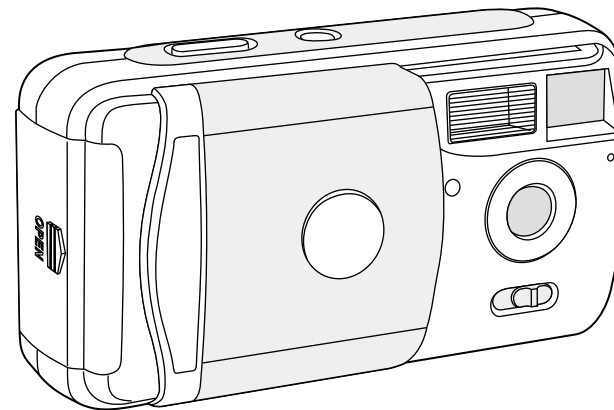
Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-401形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-401」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P99

目次

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

本機や電池を火の中に投げ入れない。
破裂による火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

アルカリ電池に注意する。
アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

⚠ 注 意

コネクタ部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。

本機の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単3形マンガン乾電池は使用できません。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下の取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池、ACアダプター（別売）をはずした。
  - 記録中にACアダプター（別売）を接続もしくははずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、メモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）を使用できます（32/64/128/256/512MB対応）。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。**
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- メモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

■ 商品概要

本製品は、400万画素CCDイメージセンサーを搭載による高画質はもちろん、コンパクトサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩けるデジタルカメラです。主な特長は以下の通りです。

主な特長

- ○ A4プリントにも対応の400万画素CCDイメージセンサー搭載
- ○ 見やすい1.5型TFTカラー液晶モニター搭載
- ○ 保存も安心の内蔵16MBフラッシュメモリ＆コピー to SDカード機能 P65
- ○ 現像も簡単なSDメモリーカード対応（SDメモリーカードスロット搭載）（※1） P23
- ○ みんなで楽しめるビデオ出力端子付き P43
- ○ 自分撮りに最適な近距離モード（約55cm〜約110cm）搭載 P31
- ○ スポーツ／夜景／人物／風景／逆光とシーンにあわせて撮影できるシーンモード搭載 P55
- ○ 白黒やセピア色で雰囲気のある撮影を演出する色効果設定機能 P61
- ○ 構図の決定に便利なグリッド表示モード搭載 P15
- ○ 動画撮影機能 P33
- ○ お気に入りの画像を起動画面に設定できるマイカメラ機能 P72
- ○ 多彩な再生モード（シングル再生、ズーム再生（2倍/3倍/4倍）、インデックス再生（9分割）、動画再生） P35
- ○ 長時間使用に便利な外部電源対応（※2） P51
- ○ すぐに使えるオールインワンパッケージ P9

（※1）SDメモリーカード別売です。
（※2）ACアダプターは別売です。

■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

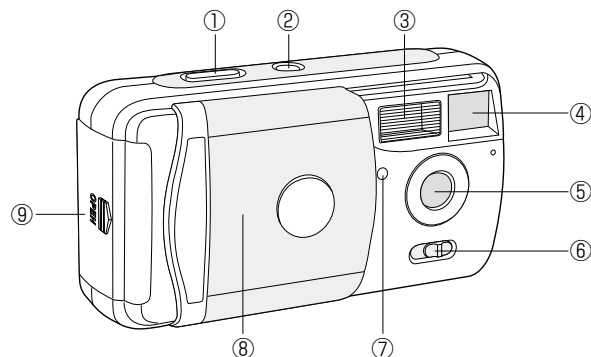
- ○ カメラポーチ
- ○ ネックストラップ
- ○ 専用USBケーブル
- ○ 専用ビデオケーブル
- ○ インストール用CD-ROM（Windows98/98SE用）
- ○ 単3形アルカリ乾電池2本
- ○ クリーナー
- ○ 取扱説明書（保証書付）

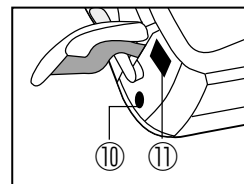
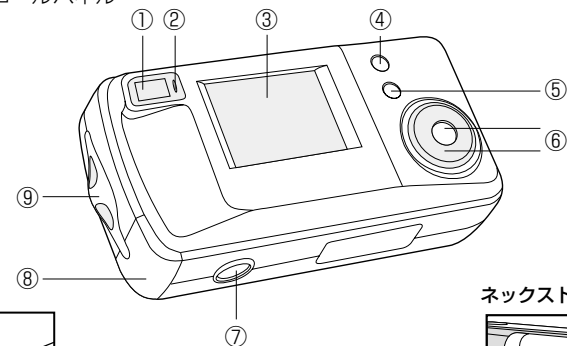
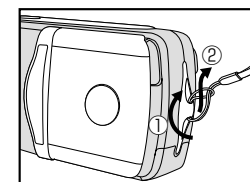
SDメモリーカード、ACアダプターは別売です。
SDメモリーカードを使う場合 P **ACアダプターを使う場合** P

以降、この取扱説明書では、専用USBケーブル、専用ビデオケーブルをUSBケーブル、ビデオケーブルと表記します。

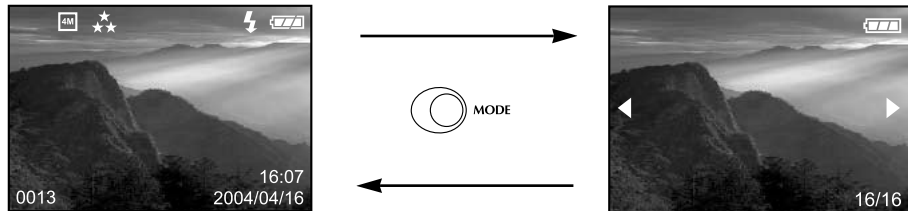
■ 各部の名称

正面

①シャッター
②電源スイッチ
③ストロボ
④ファインダー
⑤レンズ
⑥撮影距離切替スイッチ
⑦セルフタイマーランプ（レッド）
⑧レンズカバー
⑨電池／SDメモリーカードカバー

背面

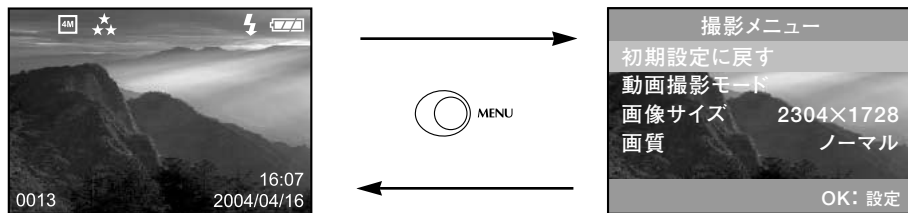
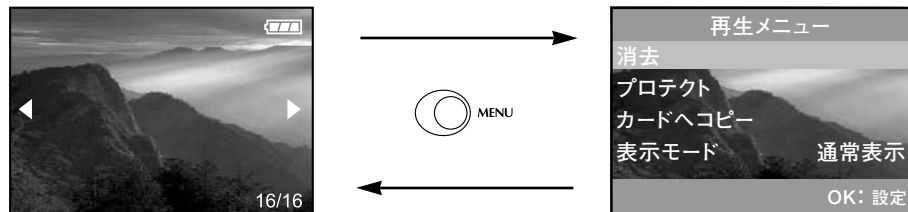
①ファインダー
②ファインダーランプ（グリーン／レッド）
③液晶モニター
④MODE（モード）ボタン
⑤MENU（メニュー）ボタン
⑥コントロールパネル
⑦三脚ねじ穴
⑧インターフェースカバー
⑨ネックストラップ取付部
⑩DC入力端子
⑪USB／ビデオ出力端子

MODE（モード）ボタン

カメラの動作するモードを切り替えます。

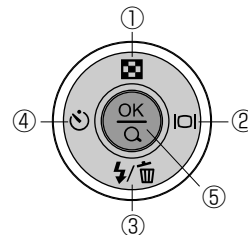
〈静止画撮影モード〉　〈再生モード〉

動画撮影を行う場合は、撮影メニューから操作します。 P

MENU（メニュー）ボタン

各モード時に各メニュー（設定可能な項目）を表示させせます。
各メニュー表示時にMENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー表示を終了します。

〈静止画撮影モード〉　〈撮影メニュー〉

〈再生モード〉　〈再生メニュー〉

コントロールパネル

コントロールパネルの各ボタンには複数の役割があります。以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

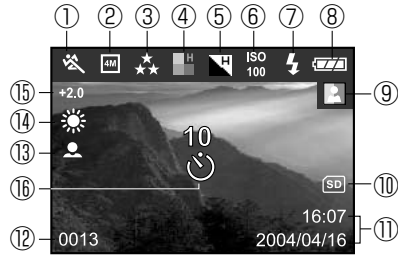
【▲】【▼】【◀】【▶】の表示は、カメラ本体（コントロールパネル部）にはありませんのでご注意ください。

No.	ボタンの名称		機　　能
①	【▲】	上ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ際に使用します。
		インデックスボタン	再生モード時にインデックス再生する際に使用します。 P37
②	【▶】	右ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ際に使用します。
		ディスプレイボタン	撮影モード時に液晶モニターの表示を切り替える際に使用します。 P15
③	【▼】	下ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ際に使用します。
		ストロボボタン	静止画撮影モード時に各ストロボモードを選ぶ際に使用します。 P30
		消去ボタン	再生モード時に再生している画像を消去する際に使用します。 P39
④	【◀】	左ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ際に使用します。
		セルフタイマーボタン	静止画撮影モード時にセルフタイマー撮影をする際に使用します。 P64
⑤		OKボタン	各メニュー画面で決定するときなどに使用します。
		デジタルズームボタン	静止画撮影/再生モード時にデジタルズームする際に使用します。 P32 P36

メニュー画面での操作について

メニュー画面での操作は、
- 【▲】【▼】で項目を選び、【◀】【▶】で設定内容を選び、MENUでメニューを終了（決定）する方法
- 【▲】【▼】で項目を選び、OKで詳細メニューを表示させ、【▲】【▼】で設定内容を選び、OKで決定する方法があります。各メニュー画面に表示される操作ガイドに従って操作してください。

以降、この取扱説明書では、MODEボタン、MENUボタン、コントロールパネルでの操作を次のように表記します。
- **MODE（モード）ボタン、MENU（メニュー）ボタンを押す操作→MODE、MENUを押す**
- **【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作→【▲】【▼】【◀】【▶】を押す**
  →【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
- **OKボタンを押す操作→OKを押す**

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時 静止画を撮る P27

①シーンモード P55
（※オート時は非表示）
- スポーツモード
- 夜景モード
- 人物モード
- 風景モード
- 逆光モード

②画像サイズ P52
- 2304×1728（約400万画素）
- 1600×1200（192万画素）
- 1280×960（約123万画素）
- 640×480（約31万画素）

③画質 P52
- ファイン（低圧縮（1/8）モード）
- ノーマル（標準圧縮（1/12）モード）
- エコノミー（高圧縮（1/16）モード）

④彩度 P60
- 高
- 中（※「中」時は非表示）
- 低

⑤シャープネス P59
- 高
- 中（※「中」時は非表示）
- 低

⑥ISO感度（撮像感度） P62
（※オート時は非表示）
- ISO100相当
- ISO200相当

⑦ストロボモード P30
- 発光禁止モード
- オートモード
- 赤目軽減（オート）モード
- 強制発光モード

⑧電池残量 P18
- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。
- ACアダプター（別売）使用時に表示されます。

⑨色効果 P61
- フルカラー（※「フルカラー」時は非表示）
- 白黒
- セピア

⑩SDカードマーク P23
※SDメモリーカード使用時に表示されます。

⑪日付/時刻 P20

⑫撮影可能枚数 P97

⑬撮影距離モード（※「標準モード」時は非表示） P31

⑭ホワイトバランス P58
（※オート時は非表示）
- 太陽光
- 曇
- 夕焼け
- 白熱灯
- 蛍光灯

⑮露出補正（※オート時は非表示） P57
−2.0EV〜+2.0EV（0.5EVステップ）

⑯セルフタイマー P64

動画撮影モード時 動画を撮る P33

（※非表示の内容は静止画撮影モード時と同様です。）

①動画撮影モードマーク
②操作ガイド
③電池残量 P18
④色効果 P61
⑤SDメモリーカードマーク P23
⑥日付／時刻 P20
⑦撮影秒数
⑧撮影距離モード P31
⑨ホワイトバランス P58
⑩露出補正 P57

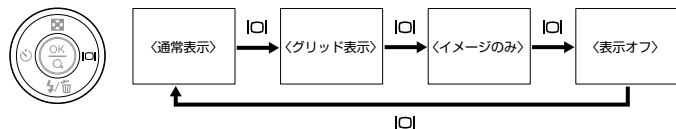
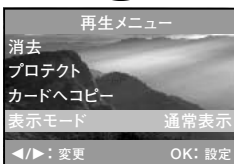
再生モード時 静止画・動画を見る P35

①動画像マーク
※動画像の場合のみ表示されます。
②動画像操作ガイド
※動画像の場合のみ表示されます。
③電池残量 P18
④操作ガイド
⑤SDメモリーカードマーク P23
⑥プロテクトマーク P69
⑦画像ナンバー
現在表示されている画像ナンバー／すべての画像数
⑧撮影秒数
※動画像の場合のみ表示されます。

液晶モニターの表示切替について

各モードの液晶モニターの表示は、以下の操作で切り替えることができます。

静止画／動画撮影モード時

|◯| ディスプレイボタン（【▶】）で切り替えます。

〈通常表示〉：基本的な設定内容をアイコン表示する標準的な表示モードです。
〈グリッド表示〉：構図の決定に便利なグリッド表示をする表示モードです。
〈イメージのみ〉：イメージのみを表示するモードです。
〈表示オフ〉：液晶モニターを表示オフにします。ファインダーを見ながらの撮影時に使用します。

- 動画撮影モード時は〈グリッド表示〉、〈表示オフ〉を選ぶことはできません。
- ここで選んだ静止画／動画撮影モード時の液晶モニター表示は、電源をオフにしたり、再生モードに切り替えたりすると、〈通常表示〉に戻ります。

再生モード時

1

再生モードの状態で、MENUを押します。

2

［再生メニュー］から【▲】【▼】で、［表示モード］を選び、【◀】【▶】で［通常表示］／［詳細表示］／［画像のみ］を選びます。

［詳細表示］…画像サイズ、ISO感度など画像情報を表示するモードです。

3

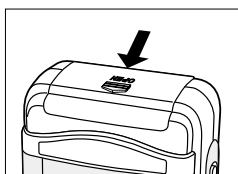
MENU

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［再生メニュー］を終了します。

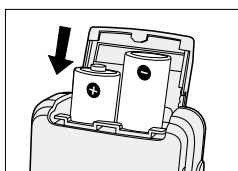
- ここで選んだ再生モード時の液晶モニター表示は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［通常表示］に戻ります。
- 動画像の場合は、［詳細表示］を選んでいても、画像情報は表示されません。

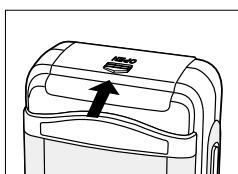
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

■ 電池を入れる

電池／SDメモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2

＋と－のしるしにあわせて電池を入れます。

3

電池／SDメモリーカードカバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池／SDメモリーカードカバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池／SDメモリーカードカバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池を使用できます。
（日立マクセル(株)HR-3SB推奨）
液晶モニターに表示される電池残量表示については、電池残量の表示をご覧ください。

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。

電池寿命の目安 （液晶モニターオン、内蔵メモリ使用時）

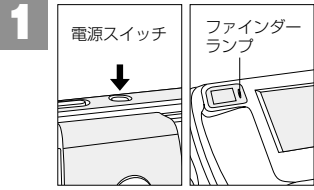
電池種類	連続撮影時	循環撮影時		再生時間
		ストロボ発光	ストロボ無し	
単3形アルカリ乾電池LR6	約900枚	約200枚	約500枚	約190分

- 表の数値は、標準環境において、2304×1728／ノーマルモードで、以下の条件で撮影した場合、約3秒１コマを連続で再生した場合の電池が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数･時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
  [連続撮影] ストロボ無しでの撮影を連続で行った場合
  [循環撮影] 被写体確認5秒→撮影→再生5秒を繰り返し行った場合
  ※両条件ともにメモリ残量がなくなった時点ですべての画像を消去。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間ご使用にならない場合は、電池をはずして保管することをおすすめします。

電池残量の表示

電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
（ストロボを使用するときや、**フォーマットする** P74 ときなど、正常に動作しない場合がありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）
電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。
ACアダプター（別売）使用時に表示されます。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

■ 電源のオン／オフ

1

ファインダーランプ(レッド)が点灯するまで電源スイッチを押し、電源をオンにします。

「ピッ」という音とファインダーランプ（グリーン）の点灯で電源がオンになったことをおしらせします。

2

ファインダーランプ（グリーン）の点灯が消えるまで電源スイッチ押し、電源をオフにします。

ファインダーランプ（グリーン）の点灯が消え、電源がオフになります。

- 電源スイッチを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直してください。
- 初めてお使いになるときや、電池をはずして長時間保管されていたときなど内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻の設定画面が表示されます。その場合は、**日付／時刻を合わせる**の手順に従って、日付／時刻を設定してください。

オートパワーオフ機能

電源がオンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は[3分] P50）と、節電のために自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源スイッチを操作して電源をオンにしてください。

- ACアダプター（別売）使用時もオートパワーオフ機能は有効です。
- パソコンとUSB接続しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになった場合は、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合など内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。
その場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

1

日付/時刻
日付: 2004 / 04 / 13
時刻: 16:07
形式: 年 / 月 / 日 24時制
終了

【▲】【▼】で [日付] の設定部分を選び、OK を押します。

2

日付/時刻
日付: 2004 / 04 / 13
時刻: 16:07
形式: 年 / 月 / 日 24時制
終了

「年・月・日」をコントロールパネルを使って合わせ、すべて合わせたら OK を押します。

【▲】【▼】：＋－
【◀】【▶】 OK ：数値の決定と項目の移動

3

日付/時刻
日付: 2004 / 04 / 13
時刻: 16:07
形式: 年 / 月 / 日 24時制
終了

【▲】【▼】で [時刻] の設定部分を選び、OK を押します。

4

日付/時刻
日付：2004 / 04 / 13
時刻：16：07
形式：年 / 月 / 日 24時制
終了

「時間・分」をコントロールパネルを使って合わせ、「分」を合わせたら ㊍ を押します。

【▲】【▼】：＋－
【◀】【▶】 ㊍ ：数値の決定と項目の移動

5

日付/時刻
日付：2004 / 04 / 13
時刻：16：07
形式：年 / 月 / 日 24時制
終了

【▲】【▼】で［形式］の設定部分を選び、㊍ を押します。

6

【▲】【▼】で表示の形式を選び、㊍ を押します。

年/月/日 24時制：「年」「月」「日」の順序で、「時間」は24時間制で表示されます。
年/月/日 12時制：「年」「月」「日」の順序で、「時間」は12時間制で表示されます。
日/月/年 24時制：「日」「月」「年」の順序で、「時間」は24時間制で表示されます。
日/月/年 12時制：「日」「月」「年」の順序で、「時間」は12時間制で表示されます。
月/日/年 24時制：「月」「日」「年」の順序で、「時間」は24時間制で表示されます。
月/日/年 12時制：「月」「日」「年」の順序で、「時間」は12時間制で表示されます。

7

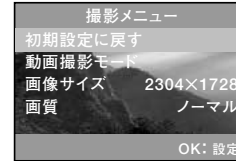
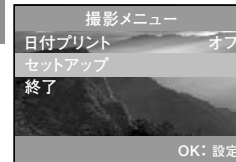
日付/時刻
日付：2004 / 04 / 13
時刻：16：07
形式：年 / 月 / 日 24時制
終了

【▲】【▼】で［終了］を選び、㊍ を押します。

一度設定した日付／時刻を合わせ直す場合は

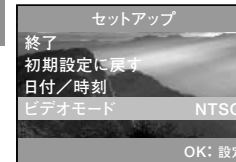
1

静止画撮影モードからMENUを押して、［撮影メニュー］を表示させせます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［セットアップ］を選び、㊍ を押します。

［セットアップ］メニューが表示されます。

［セットアップ］は［動画撮影メニュー］や［再生メニュー］からでも選べます。

3

［セットアップ］メニューから【▲】【▼】で、［日付／時刻］を選び、㊍ を押します。

日付／時刻設定画面が表示されます。

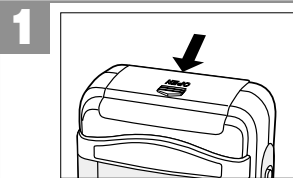
4 前述の手順と同様の操作で日付／時刻を合わせます。

- 電源交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約10分間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定をクリアにする場合があります。
- 設定された日付／時刻および形式は、電源をオフにした後や**初期設定に戻す** P25 操作を行っても保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

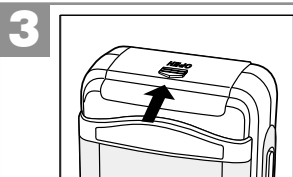
SDメモリーカードについて P8 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます
（32/64/128/256/512MB対応）。
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます（内蔵16MBフラッシュメモリ搭載）。
また**内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P65 こともできます。

- 撮影可能枚数・時間の目安については、**■ 仕様：画像記録枚数・時間／データサイズ** P97 をご覧ください。
- 以降、この取扱説明書ではSDメモリーカードのことをメモリーカードと表記します。

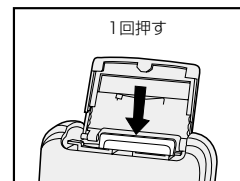
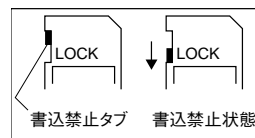
- **メモリーカードを使用するとメモリーカードが優先され、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を消去することはできません。**
- **メモリーカードの交換は電源をオフにして行ってください。**

電池／SDメモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。

2

メモリーカードを挿入します。
メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

電池／SDメモリーカードカバーを閉じます。

メモリーカードを取り出すには

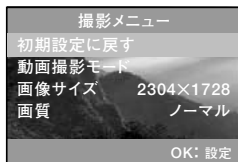
電池／SDメモリーカードカバーを開き、メモリーカードを1回押して取り出してください。

メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

メモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードロック！」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

- **他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。フォーマットする** P74
- **メモリーカードを使用するときは、メモリーカードの取扱説明書をあわせてお読みください。**

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったときなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻します。

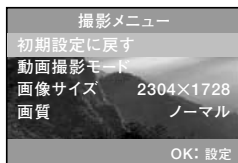
1

静止画／動画撮影モードから、MENUを押して、[撮影メニュー] を表示させます。

2

[撮影メニュー] から【▲】【▼】で、[初期設定に戻す] を選び、OK を押します。

確認画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で [はい] ／ [いいえ] を選び、OK を押します。

［初期設定に戻す］操作は［セットアップ］メニューからでも操作できます。

各項目の初期設定

設定項目	初期設定
画像サイズ	4M 2304×1728
画質	ノーマル
シーン	オート
露出補正	Auto
ホワイトバランス	オート
クイックビュー	オン
ISO感度	オート
色効果	フルカラー
彩度	中
シャープネス	中
日付プリント	オフ
サウンド	オン
オートパワーオフ	3分
ストロボ	発行禁止モード
表示モード（再生モード時）	通常表示

表示言語やビデオモード、日付／時刻を表示する形式など上記以外の項目は**初期設定に戻す**操作を行っても設定内容が優先され初期設定には戻りません。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

撮影方法には、液晶モニターを見ながら撮る方法とファインダーを見ながら撮る方法があります。
電池残量が少ない場合や、通常のフイルムカメラ感覚で撮影したい場合は、ファインダーを見ながらの撮影をおすすめします。**液晶モニターとファインダーを使い分ける**を参考に目的に応じた撮影方法でご使用ください。

液晶モニターとファインダーを使い分ける

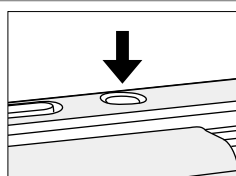
	液晶モニターを見ながら撮る	ファインダーを見ながら撮る（液晶モニターオフ）
こんな場合に	● 実際に撮影される範囲を確認しながら撮影したい場合 ● 花や人物のアップの撮影など、近距離モードで撮影する場合	● 電池残量が少ない場合 ● 通常のフイルム感覚で撮影したい場合
長所	● 撮影する範囲を正しく確認できる。	● カメラがブレにくい。 ● 周囲が明るくても被写体がよく見える。 ● 電池消耗が少ない。
短所	● 手ブレが起こりやすい。 ● 周囲が明るいときや暗いときに見にくい場合がある。 ● 電池消耗がファインダーと比べて早い。	● 近くのものを撮影する場合に、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じる。

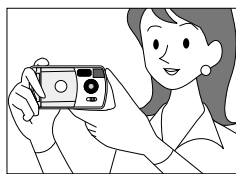
クイックビューについて

クイックビューを［オン］にしている場合（初期設定は［オン］）は、シャッターを押して撮影した後に、撮影された画像を表示します。設定を変更される場合は、［撮影メニュー］の［クイックビュー］で［オン］／［オフ］を選びます。

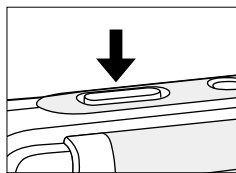
クイックビューの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 **操作を行うと［オン］に戻ります。**

液晶モニターを見ながら撮る場合

1

レンズカバーを開き、電源スイッチを押し、電源をオンにします。
静止画撮影モードになります。

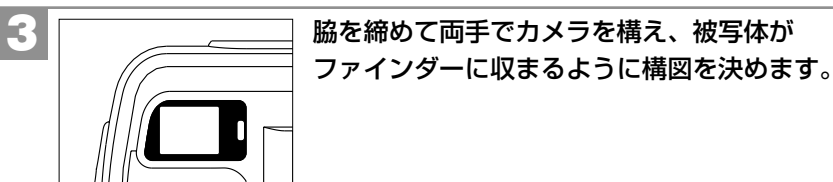
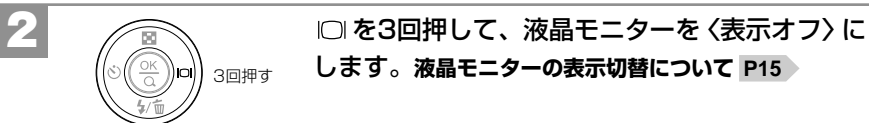
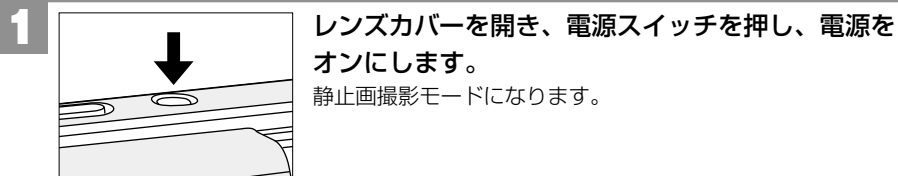
2

脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

3

シャッターを押します。
●“ピッ”という音で、撮影されたことをおしらせします。
●クイックビュー設定を［オン］にしている場合（初期設定は［オン］）は、撮影された画像を表示し、次の撮影が可能になります。

撮影したあとに、ファインダーランプ（レッド）が点滅している場合は、ストロボの充電中です。ストロボを使う P30

ファインダーを見ながら撮る場合（液晶モニターオフ）

近距離（約110cm以下）で撮影する場合は、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じますので、近距離モードに設定し P31 、液晶モニターを見ながらの撮影をおすすめします。

1

レンズカバーを開き、電源スイッチを押し、電源をオンにします。

静止画撮影モードになります。

2

を3回押して、液晶モニターを〈表示オフ〉にします。液晶モニターの表示切替について P15

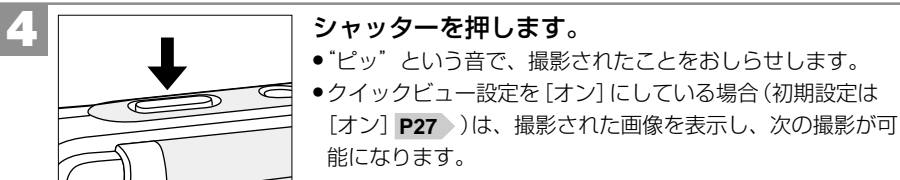
3

脇を締めて両手でカメラを構え、被写体がファインダーに収まるように構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

4

シャッターを押します。

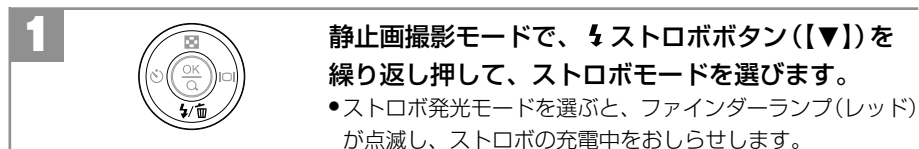
- "ピッ"という音で、撮影されたことをおしらせします。
- クイックビュー設定を［オン］にしている場合（初期設定は［オン］ P27 ）は、撮影された画像を表示し、次の撮影が可能になります。

撮影したあとに、ファインダーランプ（レッド）が点滅している場合は、ストロボの充電中です。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。
ストロボの発光は、プリ発光、続いてメイン発光と2回行われます。プリ発光で得られた被写体の露出情報をもとに、メイン発光に必要な発光量が決定され、最適な発光量でストロボ撮影を行います。

1

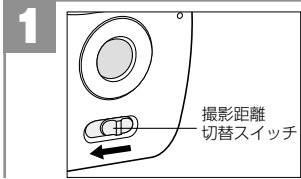
静止画撮影モードで、ストロボボタン（【▼】）を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。

- ストロボ発光モードを選ぶと、ファインダーランプ（レッド）が点滅し、ストロボの充電中をおしらせします。

発光禁止モード：ストロボは発光しません。**初期設定**
暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。
オートモード：撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。
赤目軽減モード（オート）：暗いとところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影のためのストロボの前に一度ストロボが発光します。
強制発光モード：常にストロボを発光させます。

- ストロボによる連動範囲（推奨）は、約0.6m〜約2.1mですが、近距離モード時にはストロボは発光しませんので、**有効連動範囲（推奨）は約1.1m〜約2.1m**になります。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと発光禁止モードに戻ります。

- 近距離モード時 P31 はストロボを発光することができません。
- 各シーンモードを設定しているときは、各シーンモードに適したストロボモードに固定され、ストロボモードを選ぶことはできません。**シーンモードを設定する** P55
- ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、撮影することはできません。
- 電池残量が少ない場合は、暗いところでの撮影でもストロボを発光しない場合があります。その場合は電池を交換することをおすすめします。
- 赤目軽減モードは強制発光モードではありません。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や 条件によって、効果が表れにくい場合があります。

■ 近距離撮影をする（自分撮り撮影）

近距離モードに設定して撮影すると、約55cm～約110cmの近距離撮影が可能になります。レンズカバー（ミラー部）を利用しての自分撮りなどに便利です。

1

静止画撮影モードで、撮影距離切替スイッチを（近距離モード）に切り替えます。

液晶モニターにが表示され、近距離モードに設定されたことをおしらせします。

近距離モード：撮影可能範囲約55cm～約110cm
標準モード：　撮影可能範囲約110cm～∞

- 近距離モードと標準モード以外の範囲では、焦点が合いにくい場合があります。撮影可能範囲での撮影をおすすめします。
- 近距離モードに設定すると、各ストロボ発光モードを選んでいても、発光禁止モードになります。
- 近距離モード時に**ファインダーを見ながら撮影する** P29 と、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じます。**液晶モニターを見ながらの撮影** P28 をおすすめします。
- 近距離モード時はシーン P55 、露出補正 P57 、ISO感度（撮像感度） P62 を設定することはできません。
- 近距離モードの設定は、動画撮影モード時も有効です。

■ ズームを使う

被写体をズーム倍率2倍（デジタルズーム）で拡大して撮影できます。

- デジタルズームは液晶モニターを見ながらの撮影時（画像サイズ2304×1728時）のみ有効です。
- 他の画像サイズを選んでいるときや、液晶モニターを〈表示オフ〉に設定しているとき、動画撮影モードのときは、デジタルズームを使用することはできません。
- デジタルズームで撮影された画像の画像サイズは1152×864（約100万画素）になります。
- デジタルズームは中央部を拡大しているため、**日付プリントの設定** P63 はできません。

1

静止画撮影モードで、 デジタルズームボタンを押します。

液晶モニターにデジタルズームガイドが表示されます。

- もう一度、を押すと、1倍に戻ります。

ここで選んだデジタルズームは、MENUやMODEを押したり、電源をオフにすると、ズームなし（標準）に戻ります。

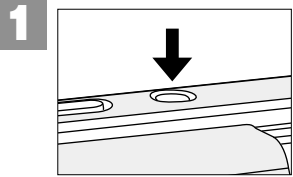
■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、付属のビデオケーブルを使用してテレビで見ることができます。

1

レンズカバーを開き、電源スイッチを押し、電源をオンにします。

静止画撮影モードになります。

2

撮影メニュー
初期設定に戻す
動画撮影モード
画像サイズ 2304×1728
画質 ノーマル
OK：設定

静止画撮影モードで、MENUを押します。

撮影メニューが表示されます。

3

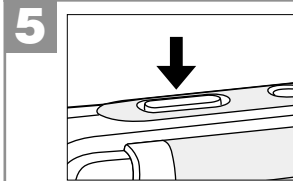
撮影メニュー
初期設定に戻す
動画撮影モード
画像サイズ 2304×1728
画質 ノーマル
OK：設定

[撮影メニュー] から【▲】【▼】で [動画撮影モード] を選び、OKを押します。

動画撮影モードになります。

4

シャッターを押します。

●"ピッ"という音と液晶モニターにRECが表示され、撮影が開始されたことをおしらせします。
撮影中は液晶モニターにRECと撮影秒数が表示されます。

5

撮影をストップするときは、シャッターを押します。

"ピッ"という音がなって撮影をストップします。

- **撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的にストップします。**
- **ホワイトバランス P58 、露出補正 P57 色効果 P61 、近距離モード P31 の設定は動画撮影時も有効ですが、それ以外の設定はできません。**

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	320×240
記録画像ファイルフォーマット	MPEG1（音声なし）
フレームレート	24フレーム/秒
データサイズ	約231KB/秒
記録時間	内蔵16MBフラッシュメモリ時：約61秒 SDメモリーカード32MB時：約128秒

- **データサイズ、記録時間は色効果設定が [フルカラー]時 P61 のあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。**
- **動画ファイル（記録画像ファイルフォーマット：MPEG1）をパソコンで再生するには、Windows Media Playerなどの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。**

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（2倍/3倍/4倍）、インデックス再生（9分割）があります。

1

電源スイッチを押し、電源をオンにします。

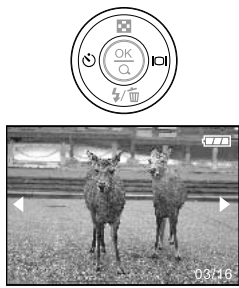
静止画撮影モードになります。

2

MODEを1回押して、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

16/16

3

【◀】【▶】で画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

【▶】

【◀】

ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、2倍、3倍、4倍の倍率でズーム再生することができます。

動画像はズーム再生できません。

1

03/16

【◀】【▶】でズーム再生したい画像を選びます。

2

OKを押すと中央部分を拡大して再生します。

3

拡大時に【▲】【▼】【◀】【▶】を押すと、表示位置を変更できます。

ズーム再生時にMENUやMODEを押したり、電源をオフにすると、ズーム再生は解除されます。

インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。たくさんの画像を撮影した際など、画像を選ぶのに便利です。

1

シングル再生時に ⊞ インデックスボタン（【▲】）を押します。

インデックス再生画面になります。

- 動画像には 🎥 が表示されます。

2

【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選びます。

3

OK を押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

動画を再生する場合は

1

【◀】【▶】で再生したい動画像を選びます。

- 動画像には 🎥（動画像マーク）が表示されます。

2

OK を押すと、再生をスタートし、液晶モニターに再生秒数を表示します。

3

再生時に OK を押すと再生をストップします。
再度 OK を押すと、最初の1フレームから再生をスタートします。

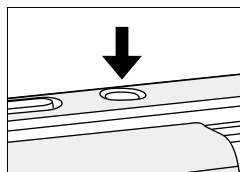
画像を消去する

**一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。**

1

電源スイッチを押し、電源をオンにします。

静止画撮影モードになります。

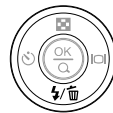
2

MODEを1回押して、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生)。

3

【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

4

🗑 消去ボタン(【▼】)を押します。

消去確認の画面が表示されます。

5

【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、OKを押します。

- ［いいえ］を選ぶと消去を中止して、再生モードに戻ります。続けて消去を行う場合は、再度 🗑 を押して消去確認画面から操作してください。

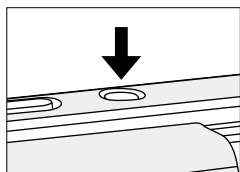
すべての画像を消去する場合は、すべての画像を消去する場合 P41 の手順で操作してください。

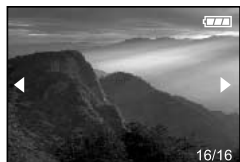
すべての画像を消去する場合

1

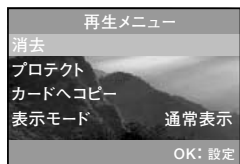
電源スイッチを押し、電源をオンにします。

静止画撮影モードになります。

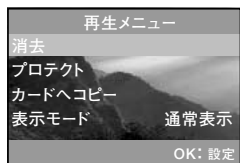
2

MODEを1回押して、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

再生モードで、MENUを押して、[再生メニュー] を表示させます。

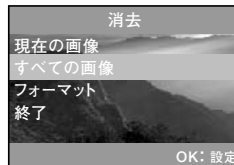
4

[再生メニュー] から【▲】【▼】で [消去] を選び、㊫を押します。

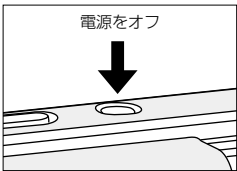
[消去] メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で [すべての画像] を選び、㊫を押します。

消去確認の画面が表示されます。

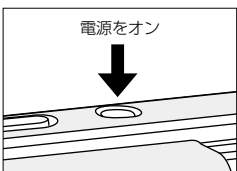
- **この時点ではまだ消去されていません。**

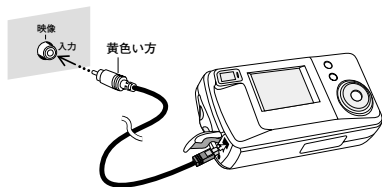
6

【▲】【▼】で [はい]／[いいえ] を選び、㊫を押します。

- [はい] を選ぶと、すべての画像が消去され、再生モードに戻り、「画像がありません」と表示されます。
- [いいえ] を選ぶと、[消去メニュー] に戻ります。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。

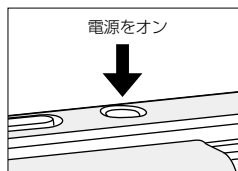
1

カメラの電源がオフになっているか確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押して電源をオフにします。

2 **ビデオケーブルのミニプラグ（小さい方）をカメラのUSB端子に差し込み、ピンプラグ（大きい方、黄色）をテレビのビデオ映像端子に接続します。**

3 **テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。**

4

レンズカバーを開き、カメラの電源をオンにします。
テレビに画像が表示されます。

5

再生する場合は、MODEを押して、再生モードにします。

- 接続した際は、ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

テレビと接続する前に

- **テレビの方式（ビデオモード）のお買い上げ時の設定は［NTSC］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。**

NTSC方式の主な国：**日本、**アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

1

電源スイッチを押し、電源をオンにします。
静止画撮影モードになります。

2

MENUを押します。
［撮影メニュー］が表示されます。

3

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［セットアップ］を選び、OKを押します。
［セットアップ］メニューが表示されます。

4

[セットアップ] メニューから【▲】【▼】で[ビデオモード] を選び、【◀】【▶】でテレビの方式を選びます。

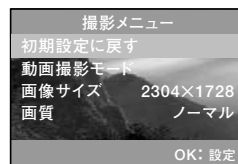
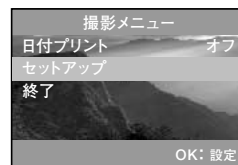
5

MENU押すと、選んだ内容を保持し、[撮影メニュー] を終了します。

6

電源をオフ

テレビの方式を設定したら、電源スイッチを押してカメラの電源をオフにします。

P43 2へ

ここで選んだテレビの方式は、**初期設定に戻す** P25 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

準備について

■ 表示言語を設定する

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

● **表示言語のお買い上げ時の設定は [日本語] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。**

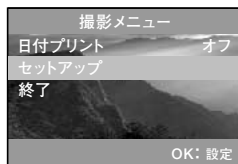
日本語	イタリア語（Italiano）
英語（English）	フランス語（Français）
中国語1（简体中文）	ドイツ語（Deutsch）
中国語2（繁體中文）	スペイン語（Español）

ここで選んだ表示言語は、初期設定に戻す P25 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

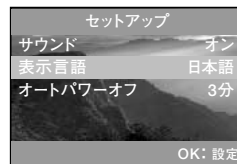
1

MENUを押して [撮影メニュー] を表示させます。

2

[撮影メニュー] から【▲】【▼】で [セットアップ] を選び、OK を押します。
[セットアップ] メニューが表示されます。

3

[セットアップ] メニューから【▲】【▼】で [表示言語] を選び、OK を押します。

4

【▲】【▼】で表示言語を選び、OK を押します。
選んだ内容を保持し、[セットアップ] メニューに戻ります。

5

MENUを押すと、[撮影メニュー] を終了します。

■ サウンドのオン／オフを設定する

操作音の［オン］ **初期設定** ／［オフ］を設定できます。

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［セットアップ］を選び、OK を押します。

［セットアップ］メニューが表示されます。

3

［セットアップ］メニューから【▲】【▼】で［サウンド］を選び、【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選びます。

4 MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

- ここで選んだサウンドの［オン］／［オフ］は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［オン］に戻ります。

■ オートパワーオフの時間を設定する

オートパワーオフの時間（1分／3分 **初期設定** ／5分／10分／切）を設定できます。

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［セットアップ］を選び、OK を押します。

［セットアップ］メニューが表示されます。

3

［セットアップ］メニューから【▲】【▼】で［オートパワーオフ］を選び、【◀】【▶】で［1分］／［3分］／［5分］／［10分］／［切］を選びます。

4

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［3分］に戻ります。
- パソコンとUSB接続している場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

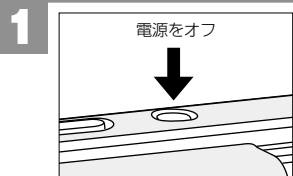
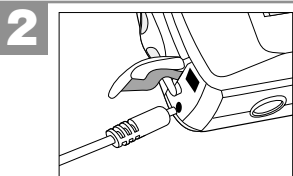
■ ACアダプター(別売)を使う

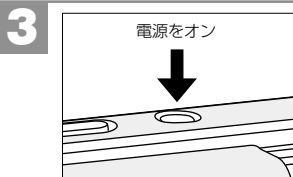
本機はACアダプターを使用することができます。
テレビで再生する場合や、パソコン接続時など、長時間カメラの電源をオンにする場合は、ACアダプターを使用すると電池の消耗を軽減できます。

ACアダプターを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。

1

カメラの電源がオフになっているか確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押して電源をオフにします。

2

ACアダプターのミニプラグをカメラのDC入力端子に差し込みます。

3

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

液晶モニターに が表示されます。

- 以降の操作は電池使用時の操作と同様です。

- ACアダプターは別売です。
  パーツNo.HDC331-001(JSA30250UU3-3)
  本体希望小売価格3,150円(税抜3,000円)※
- ACアダプターを使用して、単3形ニッケル水素電池などを充電することはできません。
- ACアダプター接続時は、乾電池からは電源が供給されません。
- ACアダプター接続時も、オートパワーオフの設定(初期設定は[3分] P50)は有効です。
- 接続した際はACアダプターのケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。

※この価格は平成16年4月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

撮影(静止画/動画)について

■画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する

目的に応じて、画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定できます。

画像サイズ(記録画素数)

4M 2304×1728(約400万画素) **初期設定**
2M 1600×1200(192万画素)
1.2M 1280×960(約123万画素)
0.3M 640×480(約31万画素)

画質(圧縮率)

★★★ ファイン(低圧縮(1/8)モード)
★★ ノーマル(標準圧縮(1/12)モード) **初期設定**
★ エコノミー(高圧縮(1/16)モード)

ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 操作を行うと[画像サイズ]は 4M 2304×1728に、[画質]は★★ ノーマルに戻ります。

画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像枚数が少なくなります。
2304×1728/1600×1200はプリントユースで使用する場合、1280×960/640×480はメール添付用などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。
動画撮影時は320×240の画像サイズ(記録画素数)になります。

各画像サイズや画質での記録枚数やデータサイズについては、■ 仕様:画像記録枚数・時間/データサイズ P97 をご覧ください。

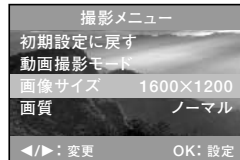
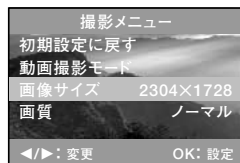
画像サイズを設定する場合

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［画像サイズ］を選び、【◀】【▶】で画像サイズを選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

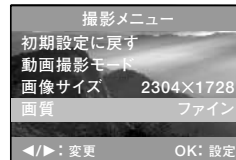
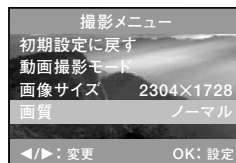
画質を設定する場合

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［画質］を選び、【◀】【▶】で画質のレベルを選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

■ シーンモードを設定する

様々なシーンにあわせて、シーンモードを設定すると、カメラがそのシーンに最適なモードで撮影します。

シーンモードの種類	設定内容
オート	通常の撮影時に使用するモードです。**初期設定**
スポーツ	約1.6秒～約2秒の間で16回の連写撮影をします。 ●ストロボモードは 発光禁止モードになります。 **撮影されたデータは、1つのJPEGファイルとして記録されます。**
夜景	夜景などを背景に撮影する際に、背景だけが暗くなるのを軽減します。 ●ストロボモードは 赤目軽減（オート）モードになります。 **三脚を使用するなどして、カメラを固定して撮影することをおすすめします。**
人物	人物の撮影に適したモードをカメラが自動的に設定します。 ●ストロボモードは 赤目軽減（オート）モードになります。
風景	風景の撮影に適したモードをカメラが自動的に設定します。 ●ストロボモードは 発光禁止モードになります。
逆光	逆光時など背景が明るいときに、対象が暗くなるのを軽減します。 ●ストロボモードは 強制発光モードになります。

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［シーン］を選び、【◀】【▶】でシーンモードの種類を選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだシーンモードの設定は、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する

本機の露出制御方式には、プログラムAEを採用しておりますが、逆光や背景が明るい場所での撮影など被写体が暗い場合に露出補正（－2.0EV～＋2.0EV（0.5EVステップ））をすることができます。

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［露出補正］を選び、【◀】【▶】で露出補正の段階を選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［AUTO］に戻ります。

■ ホワイトバランスを設定する

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

オート：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**

☀：太陽光での撮影

☁：くもり（曇天）での撮影

：夕焼け時での撮影

：白熱灯下での撮影

：蛍光灯下での撮影

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［ホワイトバランス］を選び、【◀】【▶】でホワイトバランスの種類を選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ シャープネスを設定する

撮影画像のシャープネス（鮮明さ）を設定できます。

◣ᴴ 高
◣ 中 **初期設定**
◣ᴸ 低

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［シャープネス］を選び、【◀】【▶】でシャープネスのレベルを選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと◣［中］に戻ります。

■ 彩度を設定する

撮影画像の彩度（色の鮮やかさ）を設定できます。

高
中 **初期設定**
低

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［彩度］を選び、【◀】【▶】で彩度のレベルを選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだ彩度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［中］に戻ります。

■ 色効果を設定する

撮影画像の色効果を設定できます。

フルカラー 初期設定

白黒

セピア

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［色効果］を選び、【◀】【▶】で色効果の種類を選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと ［フルカラー］に戻ります。

■ ISO感度（撮像感度）を設定する

ISO感度を設定できます。
ISO感度とは、写真用フィルムの感度をあらわす単位で、光を感じる能力を数値化したものです。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光（暗い場所）での撮影が可能になります。

オート：カメラが自動的にISO感度を設定します。 初期設定

ISO 100 ：ISO100相当

ISO 200 ：ISO200相当

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［ISO感度］を選び、【◀】【▶】でISO感度の種類を選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ 日付プリントを設定する

撮影画像に撮影時の日付を焼き付けることができます。

日付プリントの設定を［オン］にして静止画を撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（左下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1

MENUを押して［撮影メニュー］を表示させせます。

2

［撮影メニュー］から【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選びます。

3

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、［撮影メニュー］を終了します。

- ここで選んだ日付印刷は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［オフ］に戻ります。
- 日付プリントの文字は白色のため、背景が白い場合は文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの設定が［オン］の場合でも、デジタルズーム時は、日付プリントされません。

■ セルフタイマーで撮る

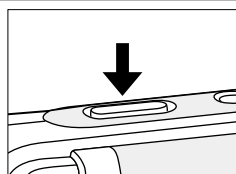
セルフタイマー機能を使用して撮影することができます。（タイマー時間10秒/5秒 切り替え）
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

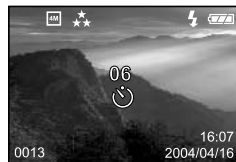
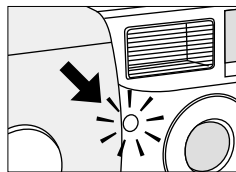
1

静止画撮影モードで、 セルフタイマーボタン（【◀】）を繰り返し押して、セルフタイマーのタイマー時間を選びます。

10：タイマー時間10秒
05：タイマー時間5秒

選んだタイマー時間のアイコンが液晶モニター内に表示されます。

2

構図を決め、シャッターを押します。

- セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニター内の数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、選んだタイマー時間後に“ピーッ”という音で撮影されたことをおしらせします。

- セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、 セルフタイマーボタン（【◀】）を押します。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正など）はセルフタイマー撮影時も有効です。
- 一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

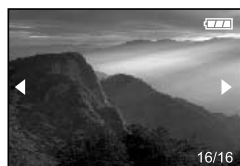
再生（静止画／動画）について

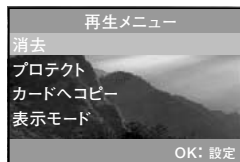
■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

内蔵メモリ（16MB）に入っている画像をメモリーカードへコピーすることができます。
メモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリを使用して撮影した場合などで、後で画像をメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

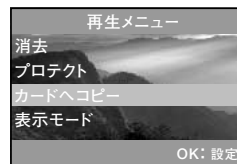
- 本機能は内蔵メモリ内に画像がある場合のみ有効です。
- 本操作を何回も続けて行うと、メモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

MODEを押して再生モードにします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

再生モードで、MENUを押して、［再生メニュー］を表示させます。

3

［再生メニュー］から、【▲】【▼】で［カードへコピー］を選び、OKを押します。
コピー確認の画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で［はい］／［いいえ］を選び、OKを押します。

- ［はい］を選ぶと内蔵メモリ内にあるすべての画像をメモリーカードにコピーし、［再生メニュー］を終了します。
- ［いいえ］を選ぶとコピーを中止して、［再生メニュー］に戻ります。続けてコピーを行う場合は、再度［再生メニュー］から操作してください。

- メモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、「カードが一杯です!」と表示され、コピーを途中で終了します。

■ スライドショー再生をする

メモリ内にあるすべての画像を1/3/6/10秒間隔でスライドショー再生することができます。

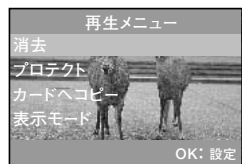
1

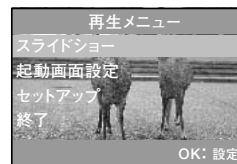
MODEを押して再生モードにします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

【◀】【▶】で、スライドショー再生を開始したい画像を選びます。

3

MENUを押して、[再生メニュー] を表示させます。

4

[再生メニュー] から【▲】【▼】で [スライドショー] を選び、OKを押します。

5

【▲】【▼】で再生間隔（1/3/6/10秒）を選び、OKを押します。
設定した再生間隔で、スライドショー再生を開始します。

- 再生中に、OKを押すとスライドショー再生を終了します。
- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- スライドショー再生中の表示モードは設定内容に関わらず〈画像のみ〉になります。

■ 画像プロテクトを設定する

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。

1

MODEを押して再生モードにします。

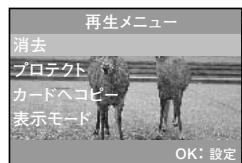
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

【◀】【▶】で、プロテクトしたい画像を選びます。

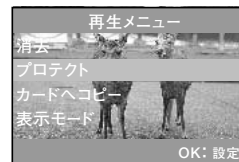
- 内蔵メモリまたはメモリカード内にたくさん画像がある場合は、インデックス再生画面にしてプロテクトしたい画像を選ぶと便利です。

3

MENUを押して、[再生メニュー] を表示させます。

4

[再生メニュー] から【▲】【▼】で [プロテクト] を選び、OK を押します。

[プロテクト] メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で [現在の画像] 選び、【◀】【▶】で [ロック] / [解除] を選びます。

6

MENUを押すと、選んだ内容を保持し、[再生メニュー] を終了します。

- [ロック] を選ぶと、シングル再生時に On（プロテクトマーク）が表示されます。

すべての画像のプロテクトを設定する場合

1

[プロテクト] メニューから、【▲】【▼】で [すべての画像] を選び、OK を押します。

2

【▲】【▼】で [ロック] / [解除] を選び、OK を押します。
選んだ内容を実行し、再生モードに戻ります。

ここで設定した画像プロテクトは、画像の消去時は有効ですが、**フォーマットする** P74 操作を行うと消去されます。

■ 起動画面を設定する（マイカメラ機能）

お気に入りの画像を起動画面に設定することができます。

起動画面に選んだ画像は、カメラ内部に通常の撮影画像とは異なる形式で保存されます。**画像を消去する** P39 、**フォーマットする** P74 操作を行うと、起動画面としては保存されますが通常の撮影画像としては消去され、復元することはできません。

1

MODEを押して再生モードにします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

【◀】【▶】で、起動画面にしたい画像を選びます。
- 内蔵メモリまたはメモリカード内にたくさん画像がある場合は、インデックス再生画面にして起動画像にしたい画像を選ぶと便利です。

3

MENUを押して、[再生メニュー] を表示させます。

応用操作編
再生（静止画／動画）について

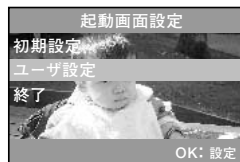
4

[再生メニュー] から【▲】【▼】で [起動画面設定] を選び、㊇ を押します。

[起動画面設定] メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で [ユーザ設定] 選び、㊇ を押します。

6

【▲】【▼】で [はい] 選び、㊇ を押します。

再生モードへ戻ります。

- 電源を入れなおすと、設定した画像が起動画面として表示されます。
- 初期設定（お買い上げ時）の画面に戻したい場合は、**5** の手順で [初期設定] を選び、**6** で [はい] を選びます。

- [ユーザ設定] で起動画面に設定できる画像は一つです。別の画像を起動画面に設定すると、最初に選んだ画像は上書きされます。
- ここで選んだ起動画面の設定は、電源をオフにした後や**初期設定に戻す** P25 操作を行っても保持されます。

消去について

■ フォーマットする

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

- フォーマット（初期化）すると内蔵メモリまたはメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。
  ※プロテクトされている画像も消去されます。
- 他のデジタルカメラやパソコンで使用されたメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

1

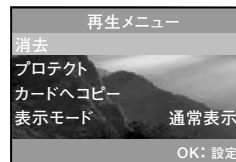
MODEを押して再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

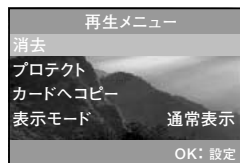
2

MENUを押して、[再生メニュー] を表示させます。

再生メニュー
消去
プロテクト
カードへコピー
表示モード　通常表示
OK：設定

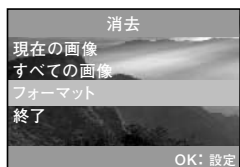
3

[再生メニュー] から【▲】【▼】で [消去] を選び、(OK) を押します。

[消去] メニューが表示されます。

4

【▲】【▼】で [フォーマット] を選び、(OK) を押します。

フォーマット確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

5

【▲】【▼】で [はい] ／ [いいえ] を選び、(OK) を押します。

- [はい] を選ぶと、フォーマットが実行され、再生モードに戻ります。
- [いいえ] を選ぶと、[消去] メニューに戻ります。

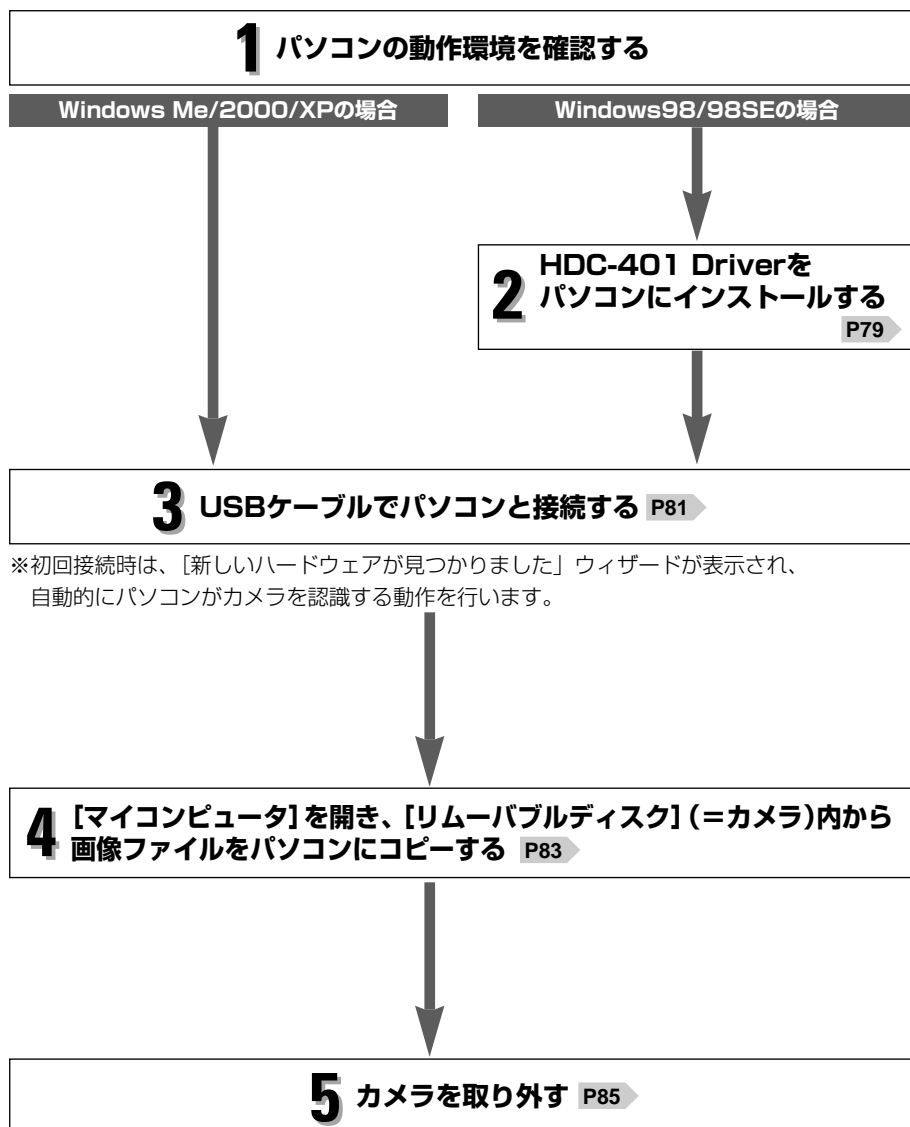
パソコン接続編

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

■ 画像ファイルをパソコンにコピーするまでの流れ

※初回接続時は、［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、
自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

4 ［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする P83

5 カメラを取り外す P85

1 パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続(撮影画像の取り込みなど)する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

■ OS：Microsoft Windows98/98SE/Me/2000/XP 日本語版

■ USBインターフェース(1.1仕様)を標準装備している機種

■ CD-ROM読み込みドライブを標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

Windows98/98SEをお使いの場合は

→ **2 HDC-401 Driverをパソコンにインストールする** P79 に進んでください。

Windows Me/2000/XPをお使いの場合は

→ **3 USBケーブルでパソコンと接続する** P81 に進んでください。

2 HDC-401 Driverをパソコンにインストールする

(Windows98/98SEをお使いの場合)

Windows98/98SEお使いの場合は、最初にHDC-401 Driverをインストールする必要があります。
手順に従ってHDC-401 Driverをパソコンにインストールしてください。

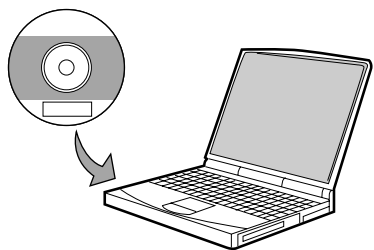
- 正しくインストールできた場合は、次回以降の接続時にはこの手順は必要ありません。
- Windows Me/2000/XPをお使いの場合は、インストールが自動的に行われますので、この手順は必要ありません。
  → 3 USBケーブルでパソコンと接続する P81 に進んでください。

HDC-401 Driver(Windows98/98SE用)をインストールする〜再起動

ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラをパソコンに接続しないでください。
また、他のアプリケーションはすべて終了しておいてください。

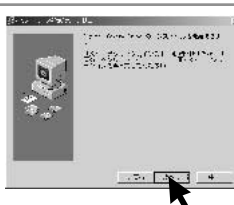
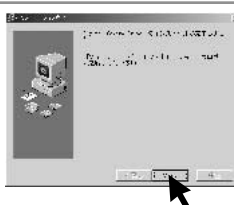
1 パソコンを起動し、付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

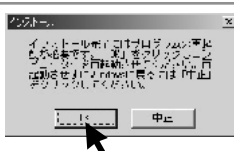
インストールメニューが自動的に表示されます。

- インストールメニューが表示されない場合は、[マイコンピュータ] 内の [HDC-401] 内の「Setup(.exe)」をダブルクリックしてください。

2 [Install HDC-401 Driver] をクリックします。

3 [ようこそ] ウィザードが表示されたら、[次へ] をクリックします。

4 [インストールの準備が完了しました!!] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

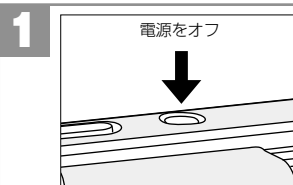
インストールが開始し、インストールが終わると [インストレーション完了] 画面が表示されます。

5 [インストレーション完了] 画面が表示されたら、[終了] をクリックします。

6 [インストール](再起動の確認)画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

コンピュータが再起動し、インストールが完了します。

インストールが完了したら、**3 USBケーブルでパソコンと接続する** P81 に進んでください。

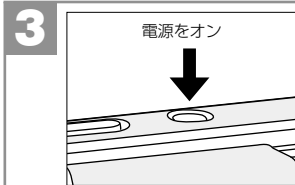
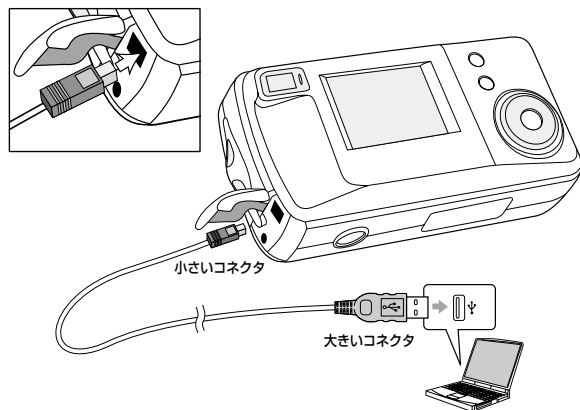
- HDC-401 Driverをアンインストール(削除)する場合は、**HDC-401 Driverをアンインストール(削除)する** P87 の手順に従って操作してください。

3 USBケーブルでパソコンと接続する

- Windows98/98SEをお使いの場合は、カメラとパソコンを接続する前に、 **HDC-401 Driverをインストールする** P79 を行う必要があります。
- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- カメラとパソコンを接続する場合は、電池の残量が十分にあることを必ず確認してください。パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
  長時間ご使用の場合は、別売のACアダプターでのご使用をおすすめします。
  ACアダプターを使う P51

1

カメラの電源がオフになっているかを確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押し、電源をオフにします。

2 USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ接続し、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

3

電源スイッチを押し、カメラの電源をオンにします。

- 初回接続時は、「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
  「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- WindowsXPでは、OS側の自動再生ウィザードが表示されるように設定されています。
  その場合は、[何もしない]を選び、[OK] をクリックします。

4 カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

[マイ コンピュータ] 内に [リムーバブル ディスク] が表示されます。

【USB接続時のご注意

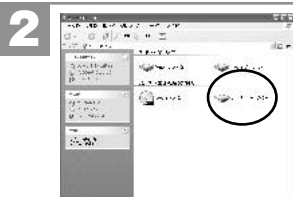
- 液晶モニターには「USB モード」と表示され、画像などは表示されません。
- オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されません。
- 通信中にUSBケーブルを抜いたり、カメラ(インターフェースカバー、コントロールパネル、シャッターボタンなど) に触れないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
  カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P85 に従って操作してください。

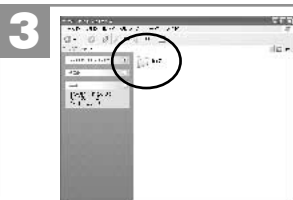
4 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

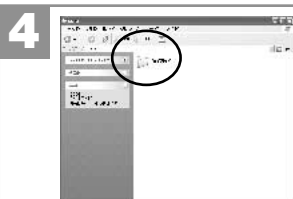
- Windows98/98SEをお使いの場合は、カメラとパソコンを接続する前に、**2 HDC-401 Driverをインストールする** P79 を行う必要があります。
- 市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1 **3 USBケーブルでパソコンと接続する** P81 に従い、USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

- ［リムーバブルディスク］が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P89 をご覧下さい。

2

［マイ コンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］をダブルクリックして開きます。

3

［DCIM］フォルダをダブルクリックして開きます。

4

［100IMAGE］フォルダをダブルクリックして開きます。

5

パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内などドラッグ＆コピーしてコピーします。

ドラッグ＆ドロップ・・・

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うこと。画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）こと。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

- コピー（通信）中は、カメラのファインダーランプ（レッド）が点灯します。点灯している間は絶対にUSBケーブルを抜いたり、カメラ（インターフェースカバー、コントロールパネル、MODEボタン、MENUボタン、シャッターなど）に触れないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは、**フォーマットする** P74 操作を行うと、すべて消去されますのでご注意ください。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：

XXXIMAGE

フォルダの通し番号（100～999）

ファイル名について：

CAM_YYYY.jpg（動画ファイルはMPG_YYYY.mpg）

ファイルの通し番号（0001～9999）

フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。

5 カメラを取り外すときは

- カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- この操作はWindows98/98SEをお使いの場合は必要ありません。

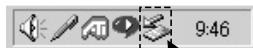
1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

タスクバー

〈WindowsMeの場合〉 USB ディスク – ドライブ (E:) の停止

〈Windows2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス – ドライブ (J:) を停止します

9:46

〈WindowsXPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス – ドライブ (E:) を安全に取り外します

［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

（Windows XPでは［OK］のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

カメラを取り外す前に、カメラとパソコンが通信中（ファインダーランプ（レッド）が点灯）でないことを必ず確認してください。

■ HDC-401Driverをアンインストール(削除)する

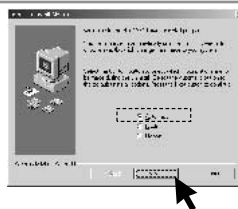
- HDC-401 DriverはWindows98/98SEをお使いの場合にインストールします。アンインストール(削除)は、インストールしたHDC-401 Driverが不要になった場合のみ行ってください。
- カメラとパソコンを接続した状態では行わないでください。またパソコンのアプリケーションはすべて終了しておいてください。

1

[マイコンピュータ]内の[コントロールパネル]内から[アプリケーション(プログラム)の追加と削除]をダブルクリックします。

2

[HDC-401]を選んで、[追加(変更)と削除]をクリックします。

3

[Select Uninstall Method](アンインストールの方法)画面が表示されたら、オプションから[Automatic](自動)を選び、[Next](次へ)をクリックします。

4

[Perform Unistall](アンインストールの確認)画面が表示されたら、[Finish](終了)をクリックします。

[Finish](終了)をクリックすると、アンインストールが実行されますので、操作は慎重に行ってください。

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる P17 。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する P17 。
	●内部システムなどの誤操作。	→電池／ACアダプターを5秒以上取り外し、もう一度電池／ACアダプターを正しく装着してから、電源ボタンを押す。
	●ACアダプター（別売）が正しく装着されていない。	→ACアダプター(別売)を正しく装着する P51 。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する P17 。
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する P17 。
	●ストロボの充電をしている。（ストロボ発光モードに切り替えた直後）	→ストロボの充電が終わるまでお待ちください。

静止画／動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→MODEボタンを押して、静止画撮影モードに切り替える P11 。
	●液晶モニターの表示設定が、〈表示オフ〉になっている。	→ディスプレイボタン（【▶】）で液晶モニターの表示を切り替える P15 。
撮影できない。	●画像記録中にシャッターボタンを押した。	→画像の記録が終わってから撮影する。
	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→ファインダーランプの点滅が終わってから撮影する。
	●静止画撮影時、再生モードまたは動画撮影モードになっている。	→MODEボタンを押して、静止画撮影モードにする P11 。
	●動画撮影時、静止画撮影若しくは再生モードになっている。	→静止画撮影モードで、MENUボタンを押し、動画撮影モードを選択する P33 。
	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。
	●メモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。 →内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去する P39 か、別のメモリーカードと交換する P23 。
	●メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードロック！」が表示）	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する P24 。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが 発光禁止モード（初期設定）になっている。	→ストロボモードを オートまたは 赤目軽減（オート）、 夜景、 強制発光にする P30 。
	● 近距離モードになっている。	→ 標準モードに切り替えて再度、ストロボモードを選択する P31 。
	●被写体が明るい。	→強制ストロボモードに切り替えて撮影する P30 。
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ有効連動範囲（約1.1〜約2.1m）で撮影する P30 。
撮影画像がぼやけている	●レンズに指がかかっている。	→レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。
	●近距離モードで遠景を撮影している。	→ 標準モード（約110cm〜∞）に切り替える P31 。
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（近距離時：約55cm〜約110cm、標準時：約110cm〜∞）で撮影する。

症状	原因	処置
撮影画像がぼやけている。	●画像ブレ	→三脚を使うなどして、カメラを固定して撮影する
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去するか P39 、別のメモリーカードと交換する P23 。
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する P17 。
内蔵16MBフラッシュメモリに記録できない。	●メモリカードが装着されている。	→電源をオフにしてメモリーカードを外す P24 。
構図を決めるとき、液晶モニターの映像が尾を引くように映る。	●暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、尾を引くような映像が映る場合があります。三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。	—

静止画・動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→MODEボタンを押して、再生モードにする P11 。
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像を消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードロック!」が表示）	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する P24 。
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

テレビを使って再生／撮影する

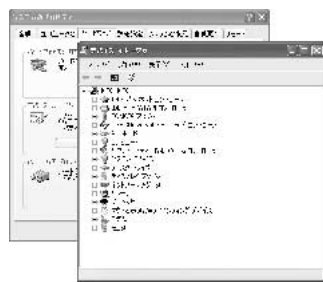
症状	原因	処置
テレビに画像が表示されない。	●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。	→テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。
	●ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→テレビとカメラからビデオケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。
テレビの画像が乱れている（カラーにならないなど）。	●[ビデオモード]の設定が[PAL]になっている。	→[NTSC]に切り替える P44 。

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する P81 。 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●HDC-401 Driverがインストールされていない（Windows98/98SE使用時のみ）。	→HDC-401 Driverをインストールする P79 。
	●Windows98/98SEをお使いの場合で、HDC-401 Driverをインストールする前に、カメラとパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。［デバイスマネージャ］を開き、［その他のデバイス］が表示されていないか確認してください。	→［その他のデバイス］が表示されていたら、認識されなかったデバイス（「?」マーク）を［削除］しパソコンを再起動してから、HDC-401 Driverをインストールする P79 。

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど）	●HDC-401 Driverの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[USB大容量記憶デバイス]に、黄色い「！」マークが付いているときは、[USB大容量記憶デバイス]を[削除]してから、カメラを取り外し、再度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。**P81** →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する **P17** 。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラを取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→**カメラを取り外すときは** **P85** に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ] は、[マイコンピュータ] から右クリックで [プロパティ] を選ぶか、[コントロールパネル] から [システム] をダブルクリックして、[システムのプロパティ] から開きます。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語（Language）]が[English] なっている。	→ [表示言語] を [日本語] に切り替える **P47** 。
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
デジタルズームができない。	●液晶モニターを〈表示オフ〉にしている。	→ディスプレイボタン（【▶】）で、液晶モニターの表示を切り替える **P15** 。
	●動画撮影モードになっている。	→MODEボタンを押して、静止画撮影モードに切り替える **P11** 。
カメラの操作ができない。（ファインダーランプの点灯が消えないなど）	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →メモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる **P23** 。 →別のメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げご販売店へご相談ください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する **P17** 。
日付プリントを設定したが、表示されない。	●背景が白い。日付プリントの文字は、白色のため、背景が白いと文字が見えない場合があります。	—
	●デジタルズームを使用して撮影した。	→デジタルズームを使用しないで撮影する **P32** 。
時々、ファインダーランプが赤色点滅する。	●ストロボの発光を一定にするために、ストロボを充電しています。	—

付録

故障とお考えになる前に

警告表示など

症状	原因	処置
カードロック！	●メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する P24 。
カードが一杯です！	●内蔵メモリまたはメモリーカードのメモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去する P39 か、別のメモリーカードと交換する P23 。 →画像サイズ、画質を変更する P53 。
画像がありません！	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。
レンズカバーが閉まっています！	●レンズカバーが閉まっています。	→レンズカバーを開く。
電池残量がありません！	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する P17 。
プロテクトされています！	●画像がプロテクトされている。	→画像プロテクトを解除する P69 。

メニュー設定項目と初期設定

	メニュー項目	設定内容
モード		静止画撮影モード P27 /再生モード P35
撮影メニュー	初期設定に戻す P25	各設定値を初期設定に戻す
	動画撮影モード P33	動画撮影モードに切り替え
	画像サイズ P52	【2304×1728】/1600×1200/1280×960/640×480
	画質 P52	ファイン/【 ノーマル】/ エコノミー
	シーン P55	【オート】/ スポーツ/ 夜景/ 人物/ 風景/ 逆光
	露出補正 P57	【Auto（オート）】/−2.0EV～+2.0EV（0.5EVステップ）
	ホワイトバランス P58	【オート】/ 太陽光/ くもり/ 夕焼け/ 白熱灯/ 蛍光灯
	クイックビュー P27	【オン】/オフ
	ISO感度 P62	【オート】/ 100/ 200
	色効果 P61	【 フルカラー】/ 白黒/ セピア
	彩度 P60	高/【 中】/ 低
	シャープネス P59	高/【 中】/ 低
	日付プリント P63	オン/【オフ】
	セットアップ	セットアップメニューへ
	終了	静止画/動画撮影モードへ戻る
再生メニュー	消去 P74	現在の画像/すべての画像/フォーマット/終了
	プロテクト P69	現在の画像/すべての画像/終了
	カードへコピー P65	内蔵メモリからSDメモリーカードへ画像をコピー
	表示モード P15	【通常表示】/詳細表示/画像のみ
	スライドショー P67	1秒/3秒/6秒/10秒/終了
	起動画面設定 P72	［初期設定］/ユーザ設定/終了
	セットアップ	セットアップメニューへ
	終了	再生モードへ戻る
セットアップメニュー	終了	一つ前のメニューへ戻る
	初期設定に戻す	各設定値を初期設定に戻す
	日付/時刻 P20	日付/時刻/形式/終了
	形式 P21	［年/月/日 24時制 / 年/月/日 12時制 日/月/年 24時制 / 日/月/年 12時制 月/日/年 24時制 / 月/日/年 12時制
	ビデオモード P44	［NTSC］/PAL
	サウンド P49	【オン】/オフ
	表示言語 P47	［日本語］/英語/イタリア語/スペイン語/フランス語/ドイツ語/中国語1（简体中文）/中国語2（繁體中文）
	オートパワーオフ P50	1分/【3分】/5分/10分/切

【　】：初期設定　［　］：お買い上げ時の設定･･･初期設定に戻す操作を行っても設定内容は保持されます。

■ 仕様

項目		仕様
有効画素数		約400万画素
撮像素子		1/1.8インチCCDイメージセンサー(総画素数:約408万画素)
記録媒体		SDメモリーカード(32/64/128/256/512MB対応)(※1)、内蔵16MBフラッシュメモリ(※2)
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠(DCF1.0、EXIF2.2準拠)
	記録画素数	2304×1728ピクセル(約400万画素)／1600×1200ピクセル(約192万画素)／1280×960ピクセル(約123万画素)／640×480ピクセル(約31万画素)／
	JPEG圧縮率	ファイン(低圧縮(1/8)モード)／ノーマル(標準圧縮(1/12)モード／エコノミー(高圧縮(1/16)モード)
動画	記録画像ファイルフォーマット	MPEG1(音声なし)
	記録画素数、フレームレート	320×240ピクセル、24フレーム/秒
画像記録枚数・時間／データサイズ(※3)		(下表)

記録画素数(ピクセル)	JPEG 圧縮率	1コマの データサイズ	内蔵16MB フラッシュメモリ	SDメモリーカード 32MB
2304×1728 (約400万画素)	ファイン	約1,500KB	約9枚	約20枚
	ノーマル	約1,000KB	約14枚	約31枚
	エコノミー	約750KB	約19枚	約41枚
1600×1200 (192万画素)	ファイン	約720KB	約20枚	約43枚
	ノーマル	約480KB	約29枚	約63枚
	エコノミー	約360KB	約40枚	約86枚
1280×960 (約123万画素)	ファイン	約460KB	約31枚	約67枚
	ノーマル	約310KB	約47枚	約101枚
	エコノミー	約230KB	約59枚	約126枚
640×480 (約31万画素)	ファイン	約115KB	約112枚	約236枚
	ノーマル	約77KB	約179枚	約379枚
	エコノミー	約58KB	約224枚	約473枚
320×240【動画】	—	約231KB/秒	約61秒	約128秒

項目		仕様
レンズ	構成	3群5枚(非球面レンズ1枚)
	焦点距離	f=7.7mm[35mmフィルム換算:約37mm]
	F値	F3.5
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタルズーム:2倍
液晶モニター		1.5型TFTカラー液晶、約6万画素(280×220ピクセル)
ファインダー		液晶モニター／逆ガリレオ式光学ファインダー(視野率80%以上(1m〜3m)、倍率0.34倍)
撮影可能範囲		標準:約110cm〜∞、近距離:約55cm〜約110cm
シャッター		メカニカルシャッター、1/4〜1/1000秒
撮像感度		オート/ISO100相当/ISO200相当
測光方式		中央部重点平均測光(64ポイント測光)
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	オート、−2.0EV〜+2.0EV(0.5EVステップ)
ホワイトバランス		オート/太陽光/曇/白熱灯/蛍光灯/夕焼け
ストロボ	連動範囲(推奨)(※4)	約0.6m〜約2.1m
	発光モード	オート/赤目軽減(オート)/発光禁止/強制発光
セルフタイマー		タイマー時間10秒/5秒
シーンモード		オート/スポーツ/夜景/人物/風景/逆光
再生モード		シングル再生(1倍/2倍/3倍/4倍)、インデックス再生、スライドショー再生、動画再生
オートパワーオフ		1分/3分/5分/10分/切
インターフェース		USB(1.1仕様、mini-B)、ビデオ出力(NTSC/PAL 切り替え)、DC入力(DC 2.5A/3.0V)
電源		単3形乾電池2本(アルカリ乾電池／ニッケル水素充電池(別売))、ACアダプター(別売)
電池寿命(※5)		(下表)

電池種類	連続撮影時	循環撮影時		再生時間
		ストロボ発光	ストロボ無し	
単3形アルカリ乾電池LR6	約900枚	約200枚	約500枚	約190分

項目	仕様
外形寸法、質量	幅96×奥行30×高さ51.5mm(突起部除く)、約110g(電池、付属品除く)
使用条件	0℃〜40℃、湿度90%以下(結露しないこと)
付属品	専用USBケーブル、インストール用CD-ROM、専用ビデオケーブル、ネックストラップ、カメラポーチ、クリーナー、単3形アルカリ乾電池2本

(※1)SDメモリーカードは別売です。(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
(※2)内蔵フラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約14MBです。
(※3)画像記録枚数・時間及びデータサイズはあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
(※4)近距離モード時にストロボは発光しないため、有効連動範囲(推奨)は約1.1m〜約2.1mとなります。
(※5)撮影枚数・再生時間は、標準環境において、2304×1728／ノーマルモードで、以下の条件で撮影した場合、約3秒1コマで連続再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
[連続撮影]ストロボ無しでの撮影を連続で行った場合
[循環撮影]被写体確認5秒→撮影→再生5秒を繰り返し行った場合
※両条件ともにメモリ残量がなくなった時点ですべての画像を消去。

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当する センターへおつなぎします。

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所 在 地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌2条4−1−10
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町1−1−45
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野2−7−5(日立家電上野ビル)
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区新守町59(日立家電新守山ビル)
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町1−3−8
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町1−7−17
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町4285−143
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町7−18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称,所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

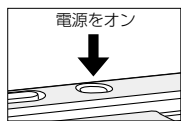
株式会社日立リビングサプライ:ホームページアドレス

http://www.hitachi-ls.co.jp/

「とにかく撮ってみる」 詳しくは**静止画を撮る** P27 をご覧ください。

メモリーカードを使う場合は、**SDメモリーカードを使う場合** P23 に従って、電源をオンにする前にメモリーカードを挿入してください。

1

レンズカバーを開き、電源をオンにします。

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合など内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。

日付／時刻の合わせ方 **日付/時刻を合わせる** P20

①【▲】【▼】で［日付］の設定部分を選び、OKを押します。

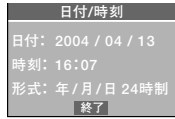
②「年・月・日」をコントロールパネルを使って合わせ、すべてを合わせたらOKを押します。

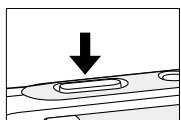
【▲】【▼】：＋－　【◀】【▶】OK：数値の決定と項目の移動

③【▲】【▼】で［時刻］の設定部分を選び、OKを押します。

④「時間・分」をコントロールパネルを使って合わせ、「分」を合わせたらOKを押します。

【▲】【▼】：＋－　【◀】【▶】OK：数値の決定と項目の移動

⑤【▲】【▼】で［終了］を選び、OKを押します

2

液晶モニターに収まるように構図を決め、シャッターを押します。

- "ピッ" という音で、撮影されたことをおしらせします。

「撮影した画像を見る」 詳しくは**静止画／動画を見る** P35 をご覧ください。

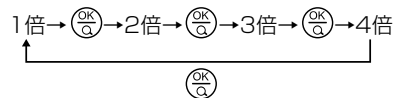
1

MODEを1回押して、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

【◀】【▶】で画像を選びます。

ズーム再生：シングル再生で表示された画像を2倍、3倍、4倍でズーム再生できます。

- 拡大時に【▲】【▼】【◀】【▶】を押すと表示位置を変更できます。

インデックス再生：シングル再生時に インデックスボタン（【▲】）を押すと、液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。

コントロールパネルについて

コントロールパネルの各ボタンには複数の役割があります。

【▲】【▼】【◀】【▶】の表示は、カメラ本体（コントロールパネル部）にはありませんのでご注意ください。

各ボタンの役割については、**コントロールパネル** P12 をご覧ください。